

選句用紙

選者名

二晃

10	9	8	特	6	5	4	3	2	1
			青山嵐 空の轍を解るにけり	靴踊るひの字ほの字のこいもの日	田水張るキラキラと苗を待つ	船立や潮のけぞる青山嵐	葉擦水合ふ静寂妖しき青山嵐	生月山嵐 ショートカットのリセエノ又	草を喰む山羊の一瞥 生月山嵐

選句用紙

選者名 山崎 たか

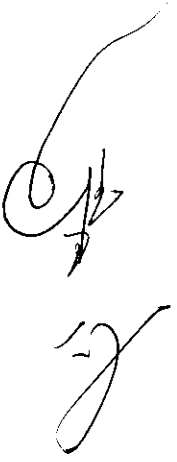
1	靴踊るふの字はの字のこどもの日
2	窯元は 駅より三里夏つばめ
3	行者ゆく山道昏し <small>くら</small> 藪草 <small>まむし草</small>
4	翔ぶつばめ横目で眺む 仁王像
5	山々の裏側の 藤花盛り
6	妻の本なざる夕暮れ 豆ごはん
特	きこかけは 新たまゆぎのツナサツダ

詩句拾珍

特	年男士度の春白を浦ヨ過 <small>トキ</small>
6	行春中へ山入道 <small>山入道</small> 一會 <small>サウ</small>
5	万年甲の田才四羅才してたひ昔上風
4	藤松水て自成と上て歌入常 <small>トキ</small>
3	才 <small>トキ</small> 女けけ新たまぬの才 <small>トキ</small> 才 <small>トキ</small>
2	昔同風上長新の才 <small>トキ</small> 夫婦 <small>トキ</small>
1	素入の野球解説山峯入 <small>トキ</small>

選句用紙

選者名



選句用紙

選者名 上窪泰千

1	建前とうわさ話の春日茶会
2	葉擦れ合ふ静寂妖しく青山嵐
3	麦の風乗り継ぎ待ちの汽車土瓶
4	限定を噛みしめる列よもぎ餅
5	万緑に飛び込む賞悟の白キ靴
6	年男七度の春日を通り過せ
特	上田 <small>カネタ</small> より順に満水早苗ゆれ

選句用紙

選者名

真一

—

特	6	5	4	3	2	1
この声か恋の声とは牛蛙	早乙女の降り立ち揺らぐ水鏡	やみくもに走る青春青嵐	緑の夜疲弊を乗せて路線バス	建前とうわさ話の春茶会	天平の蔓干筋清和なり	のどかなり摘みたてミニトへ朝のキス

選句用紙

選者名

鮫島しよらこ

1	土佐弁の溢 <small>あふ</small> るる詩集 青山嵐
2	行者ゆく山道 昏 <small>くら</small> し蝮 <small>まふし</small> 草
3	陶窯の火の色たけり夏に入る
4	妻でなく母でもなくて花衣
5	窯元は駅より三里 夏つばめ
6	湯の町の空に百本 鯉 <small>こい</small> のほり
特	有り丈の空を頬張り 鯉 <small>こい</small> 幟

選句用紙

選者名

文蔵

特	6	5	4	3	2	1
	青嵐長き祈りの老夫婦	行者ゆく山道昏し <small>あせ</small> 夏草	万緑に飛び込む覚悟白き靴	妻の本なきる夕暮れ豆ごはん	風薫る序にひとつの <small>あせ</small> 軒かな	母の日や母の一句を音読す
	きつかけは新たまねぎのツナサラダ					

選句用紙

選者名

富野香衣

たうたは

1	苗芽に實を結ぶと 新緑の街に空を 風光の街に空を 青空を乗せて 花の街に空を 母の街に空を 高き空に空を
2	新緑の街に空を 風光の街に空を 青空を乗せて 花の街に空を 母の街に空を 高き空に空を
3	風光の街に空を 青空を乗せて 花の街に空を 母の街に空を 高き空に空を
4	青空を乗せて 花の街に空を 母の街に空を 高き空に空を
5	花の街に空を 母の街に空を 高き空に空を
6	母の街に空を 高き空に空を
特	高き空に空を

選句用紙

選者名

山本わこ

特	6	5	4	3	2	1
	有り丈の空を頬張り鯉幟	青山嵐弟 ^{かば} 底ふがキ大将	水面の流るる雲に早苗揺る	母の目やみづうみ深くしいんとして	春雷や鉛の空の墮ちて夜	土佐弁の溢るる詩集青山嵐
						やみくもに走る青春青山嵐

選句用紙

選者名

一途

特	6	5	4	3	2	1
	寒村の空に孤高の二ハのぼり	二の音が恋の声とは牛蛙	草を喰む山羊の一瞥青山風	蕙坊主登校の列交じりたし	ありったけ口を開きこて燕の子	田水張るキラキラキラと苗を待つ
						上田より囁に満水早苗ゆれ

選句用紙

選者名

真一

—

1	のどかなり摘みたてミントへ朝のキス
2	天平の蔓 干筋清和なり
3	建前とうわさ話の春茶会
4	緑の夜 疲弊を乗せて路線バス
5	やみくもに走る青春青嵐
6	早乙女の降り立ち揺らぐ水鏡
特	この声か心の声とほ牛蛙

選句用紙

選者名 道夫

特	6	5	4	3	2	1
風 光る 産声 やがて 歌 となる	妻 でなく 母 でも なくて 化衣	万 緑に 飛び 込む 覚悟 白き 靴	翔 ぶつ ばの 横目 で眺 む仁 王像	芍 <small>しやく</small> 薬 <small>やく</small> のほ どけ る頃 を待 ちみ たり	風 神の 膝で 小踊 り主 月山 嵐	青嵐 空の 轍を 解き にけり

選句用紙

選者名

桃紅

特	6	5	4	3	2	1
	無人の観覧車 青山風の金属音	青山風 ショートカットの リセエンジン	麦の風 乗り継ぎ待ちの 汽車土瓶	青山風 闇に揺るがぬ アンタレス	何食はぬ顔で 棒立つ葱坊主	この声か恋の 声とは牛蛙
	翔ぶつばめ 横目で睨む 仁王像					

選句用紙

選者名

へちま

1	万緑に飛び込む覚悟白き靴
2	有り丈の空を頬張り鯉職
3	風薫るカテドラルへの右畳
4	この声か赤い声とは牛蛙
5	寒村の空に孤高のこいのぼり
6	若沖の著天刷毛目や亀鳴けり
特	望元は駅より三里夏うばめ

選句用紙

選者名 山下疾風

1	青山嵐吹きに吹きたる <small>あした</small> 晨かな
2	青山嵐シヨートカットのリセエンヌ
3	早乙女の降り立ち揺らぐ水鏡
4	青山 <small>せうざん</small> 風や <small>いづか</small> 蕩の波を <small>り</small> 鯉魚 <small>ぎよ</small> 夢む
5	湛水 <small>たんすい</small> に <small>かす</small> 掠む <small>かん</small> 燕の一筆書
6	家蜘蛛や <small>あ</small> 曇寝転び書に沈む
特	陶窓 <small>とうそう</small> の火の色たけり夏に入る

選句用紙

選者名

山本正晴

1	川の畔が恋のハルとハナ牛一蛙
2	陵御の姫を慕ひて亀鳴ナク
3	夏はくさくさの目線と先を指ふ
4	夏草も花の影にハナはハナ
5	空にハナはハナハナハナハナ
6	釣鐘や音のこころハナハナ
特	寒村の空に孤の可の鯉の群